

カリキュラム

機構施設名：奈良職業能力開発促進センター
 実施機関名：一般社団法人日本経営協会 関西本部

(B)生涯キャリア形成	技能・ノウハウ継承	効果的なOJTを実施するための指導法
-------------	-----------	--------------------

コースのねらい	後輩従業員へのノウハウの継承を目指して、中堅・ベテラン従業員がもつ経験や技能をOJTを通じて後輩従業員に伝達するための知識と技能を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 人材育成のプロセス	(1)理想の指導者とは【講義/個人ワーク/ディスカッション】 ・理想の指導者像について(グループ討議) (2)自身の役割とは【講義/個人ワーク/ディスカッション】 ・指導者としての自身が担う役割を考える(グループ討議) ・指導者として必要な考え方 (3)自身の現状を見つめる【講義/個人ワーク/ディスカッション】 ・自身の指導の在り方について「うまくいっていること」、「課題と感 じること」 (グループ討議) ・自身の業務の棚卸しを行い、ノウハウの効果的な継承を目指 して整理をする (グループ討議)	1.0
	2 効果的なOJTの進め方とポイント	(1)効果的なOJTとは【講義/個人ワーク/ディスカッション】 ・OJTの目的、目標を明確にする(グループ討議) ・OJTのポイントと流れ (2)コミュニケーションの見直し【講義/個人ワーク/ディスカッション】 ・指導時に必要なコミュニケーションとは ・自身のコミュニケーションのパターンを知る(グループ討議) ・相手に応じたコミュニケーションを考える(グループ討議) (3)相手に応じた育成法【講義/個人ワーク/ディスカッション】 ・相手のモチベーションを上げる指導法 褒め方、注意の仕方、指示の仕方、など ・自分自身の成長のために取り入れるかかわり方(グループ討 議)	2.5
	3 現場で活かせる実践的指導法	(1)コーチングから学ぶ効果的な指導法 【講義/個人ワーク/ディスカッション】 ・コーチングとは ・コーチングとティーチングの違い ・コーチングの活用場面 (2)コーチングの基本スキル【講義/個人ワーク/グループワーク】 ・相手と信頼関係を築く「傾聴」、演習 ・相手のモチベーションを高める「承認」、演習 ・相手を前進させる「質問」、演習 ・総合演習 (3)相手をさらに成長させるために【講義/個人ワーク/ディスカッ ン】 ・面談時の注意点 ・効果的な注意の仕方とフィードバックのポイント	2.5
合計時間			6H

カリキュラム作成のポイント
・現場において部下・後輩に業務を通じて効果的に指導を行い、個人が持つノウハウを組織としてのノウハウとして継承していくことを目指します。 ・自分自身の業務の棚卸しを行うことで、業務を俯瞰・可視化し、分かりやすく効果的な指導育成法を見出します。 ・自分自身のコミュニケーションの在り方を見直し、相手に受け入れられる対応法を身に付けます。 ・部下・後輩と信頼関係を構築しつつ、相手を成長させる指導法とかかわり方を座学だけでなく、演習を通して学び、職場で実践できる準備をします。